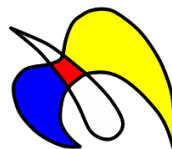


ななかまど



☆年間の生活目標
あいさつをしよう
☆11月の生活目標
やさしい言葉づかいをしよう
さきにあいさつをしよう

特別号

学校ホームページアドレス <http://www.16sapporo-c.ed.jp/nakanoshima-e/>

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果より

4月に6年生の児童を対象に「全国学力・学習状況調査」が実施されました。義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的としています。

本調査で把握できるのは、児童の学力や学習状況の一部分であり、学校の教育活動の一側面ではありますが、結果を分析し、本校の教育活動の一層の改善に努めてまいります。

今後とも、本校の教育活動につきまして、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

【国語】

教科に関する調査の結果概要及び改善の方向性等について

本校の調査結果の概要	今回の調査における課題	改善の方向
【内容】 「言葉の特徴や使い方に関する事項」 ◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。	●学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと。	○漢字のもつ意味を考えながら、文や文章の中で正しい使い方を習得できるようにする学習活動の充実を図る。
「情報の扱いに関する事項」 ◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。	●情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方について理解し使うこと。	○情報と情報の関係には、原因と結果等の関係があることを理解し、様々な情報の中から情報と情報の関係を見だし、整理して捉える学習活動の充実を図る。
「我が国の言語文化に関する事項」 ◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。	●時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付くことができること。	○国語の学習で行う、俳句や和歌のような文語調の文章や昔の文学作品に登場する言葉遣いを比べる学習活動の充実を図る。
「話すこと・聞くこと」 ◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。	●目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。	○話し手の考えと自分の考えの共通点や相違点を整理したり、共感した内容や納得した事例を取り上げたりして自分の考えをまとめる学習活動の充実を図る。

「書くこと」 ◎全国平均を上回っている。	●各内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができること。	○読み手にとって分かりやすい文章にしたり、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫したりする学習活動の充実を図る。 ○書いた文章の感想や意見を他者と伝え合い、自分の文章のよいところを見付けたり、よりよい表現に見直したりする活動の充実を図る。
「読むこと」 ◆全国平均をほぼ同程度ではあるが、やや下回っている。	●文章に応じて文章と図表などを結び付けるなどして、必要な情報を見付けること。	○複数の本や資料を読んで分かったことを整理したり、分かったことから既存の知識や体験などに結び付くものを考えたりしながら自分の考えをまとめる学習活動の充実を図る。

【算 数】

教科に関する調査の結果概要及び改善の方向性等について

本校の調査結果の概要	今回の調査における課題	改善の方向
【領域】 「数と計算」 ◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。 「図形」 ◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。 「測定」 ▼全国平均を下回っている。 「変化と関係」 ◆全国平均をほぼ同程度ではあるが、やや下回っている。 「データの活用」 ◆全国平均をほぼ同程度ではあるが、やや下回っている。	●異分母の分数の加法の計算をすること。 例) $1/2 + 1/3$ を計算しましょう。 ●平行四辺形の性質を基にコンパスを用いて平行四辺形を作図すること。 ●はかりの目盛りを読むこと。 例) はかりの針がさしている目もりは何gですか。答えを書きましょう。 ●伴って変わる二つの数量の關係に着目し、問題を解決するために必要な数量を見だし、知りたい数量の大きさの求め方を式や言葉を用いて記述すること。 ●目的に応じて適切なグラフを選択して出荷量の増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述すること。	○分数の加法及び減法の計算の仕方を分数の意味や大きさに着目して考える活動の充実を図る。 ○辺の長さや角の大きさ、辺の位置關係に着目して、図形の構成の仕方について考察する活動の充実を図る。 ○身の回りの物の大きさを単位を用いて表現する活動の充実を図る。 ○日常の事象について、ある数量を調べようとするときに、それと關係のある数量を見だし、それらの数量の關係を把握して問題を解決する活動の充実を図る。 ○日常の事象について、目的に応じて必要なデータを収集し、データの特徴や傾向を捉え考察する活動の充実を図る。

【理科】

教科に関する調査の結果概要及び改善の方向性等について

本校の調査結果の概要	今回の調査における課題	改善の方向
【領域】 「エネルギー」を柱とする領域 ◎全国平均を上回っている。	●身の回りの電気を通す物と磁石に引き付けられる物との差異点や共通点について理解すること。	○物質の性質に関する理解を深めるために、学習した知識を既習の内容や他の学習や生活と関係付け、習得した知識を整理するなどの学習活動の充実を図る。
「粒子」を柱とする領域 ◇全国平均である。	●水の温まり方について、問題に対するまとめを導き出す際、実験の方法が適切であったかを検討し、表現すること。	○結論を見いだす過程において、結果そのものと、考察を区別して、より妥当な考えを作り出すことができるよう、子どもの表現を整理する教師による関わりの充実を図る。
「生命」を柱とする領域 ◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。	●レタスの種子の発芽の条件について、差異点や共通点を基に、新たな問題を見出し、表現すること。	○問題を見いだす力を育むために、観察、実験の結果を比較して、差異点や共通点を基に、具体的な条件に着目し、一人一人が見いだした問題をノートなどに書くなどの、思考し表現する活動の充実を図る。
「地球」を柱とする領域 ◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。	●赤玉土と粒の大きさにより水のしみ込み方の違いについて、結果を基に結論を導いた理由を表現すること。	○より妥当な考えをつくり出す力を育むために、観察、実験などの結果を基に、具体的な数値や事物・現象の変化などの根拠を、明確にして自分の考えをつくり出し、表現する学習活動の充実を図る。

【児童質問紙調査】

本調査では、生活習慣、学習意欲、学習方法、学習環境等についての質問紙調査も実施されました。ここでは、全国平均と比較して特徴的だと思われる項目を中心にお知らせいたします。

全国平均と比較して肯定的な回答の多いもの
①↑読書は好きですか。 ②↑これまでの生活の中で、自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがありましたか。 ③↑PC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(7問) ④↑あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、お互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。 ⑤↑国語・算数・理科の学習は好きですか。
全国平均と比較して肯定的な回答が少ないもの
①↓自分には、よいところがあると思いますか。 ②↓困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。 ③↓学級活動における学級での話し合いを生かし、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか。 ④↓自分の考えを発表する機会では、自分の考えが上手く伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか。

【児童質問紙結果から】

※全国平均と比較して肯定的な回答が多いものは、各項目の割合が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」に回答した割合が高いものです。

- ①「読書は好きですか。」と回答している子の割合は、全国平均よりも多くなっています。朝読書や休み時間など日常的に読書をする機会が多くなってきていることがうかがえます。
- ②「これまでの生活の中で、自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがありましたか」と回答している子の割合は、全国平均よりも高く、低学年から自然観察や公園探検等の充実。精進川がある豊中公園で遊ぶ機会が多いなど自然に触れる環境があることが分かります。
- ③「PC・タブレットなどのICT機器を活用することについて」は、どの項目も全国平均より上回っており、様々な活用方法を取得し、学習に生かせるようになっていきます。使用の仕方にも慣れてきて頻繁に活用できるようになったことから、積極的に使おうとすることが分かります。
- ④「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、お互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。」では、全国平均より上回っている結果でした。「学級活動における学級での話し合いを生かし、今、自分がすべきことを決めて取り組んでいますか。」では全国平均を下回っていたので、自分の考えを小グループの中では発言できるが学級会の中では、自分の意見に自信がもてないことが考えられます。自己肯定感を高め、学級会でも自信をもって発言できる雰囲気づくりを行っていきます
- ⑤「国語・算数・理科の学習は好きですか。」それぞれ全国平均よりも上回っていました。授業内容の工夫であったり、Chromebookを活用したりすることで、調べたりまとめたりする活動がしやすくなり、興味をもって授業に参加できるようになってきていることが分かります。

- ①「自分には、よいところがあると思いますか。」では、全国平均よりやや下回っていました。今後も活動の振り返りなどを行い、自分のよさを見つめ直す機会を充実させていきます。
- ②「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」では、全国平均よりやや下回っていました。シャボテンログを活用し、子どもたちの悩みや困りに目を向け、積極的に子どもの声を聞いたり、声を掛けたりして関わっていきます。
- ③「学級活動における学級での話し合いを生かし、今、自分がすべきことを決めて取り組んでいますか。」では、自分すべきことが明確となっていないため、どのようにすればよいのかが分からず、自信をもって行動できていないことが分かります。何をすべきか明確にし、しっかり理解させた上で取り組み、自信をもって活動できるよう支援していきます。
- ④「自分の考えを発表する機会」では、全国平均より下回っており、自分の意見に自信がもてないことが分かります。発表の仕方を工夫し、成功体験を増やすなど、安心して意見が言える環境づくりを行っていきます。

本校の子どもの現状を知り、学校とご家庭が一体となって子どもたちにとって望ましい環境づくりを行えるよう、引き続き、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。